

## 共催行事（ホームページ掲載用原稿）

本プログラムからの共催補助が決定したのに関しては、ホームページ (<http://coe21.kais.kyoto-u.ac.jp>) にて告知します。以下の内容を記したファイルを [coe21@kais.kyoto-u.ac.jp](mailto:coe21@kais.kyoto-u.ac.jp) までお送り下さい。

名称：  
主催：  
趣旨等：  
日時：  
場所：  
講演タイトルおよび講演者（あるいはプログラム）：  
参加費：  
参加方法：  
連絡先（Tel, E-mail）：  
関連 URL：

ポスター原稿の PDF ファイルがあればお送り下さい。その他、参考となる情報があればお知らせ下さい。

(記入例)

名称：第3回環境微生物研究会シンポジウム

「微生物バイオテクノロジー－高校と大学の接点－」

趣旨等：大学と高等学校における微生物バイオテクノロジーの教育と研究の現状の把握、ならびに高大連携を目指す高等学校と大学（農学系）に果たして「接点は在るのか、創れるのか、それは如何なるものなのか」の理解に主眼を置いた講演と討論を行います。大学・高校・中学校職員、大学・高校生、企業および市民の方々の参加を歓迎します。

主催：環境微生物研究会

日時：平成15年11月22日（土）12:15～17:30

場所：京大会館（〒606-8305 京都市左京区吉田河原町15-9、Tel. 075-751-8311）

講演タイトルおよび講演者（あるいはプログラム）：

<プログラム>

開会

(12:15～12:25)環境微生物研究会会長

(京都大学大学院農学研究科)加藤暢夫

特別講演

(12:25～13:05)「微生物の新機能を探索し、開発する」

(京都大学大学院農学研究科)清水 昌

実践講演

(13:10～13:45)「高校生物教育の限界と再生への道のり－高大連携教育がもたらすもの・10の提言－」

(大阪教育大学附属高等学校平野校舎)吉本和夫

(13:50～14:25)「理科教育・研究：スーパーサイエンスハイスクールの挑戦」

(大阪府立北野高等学校)堀川理介

(14:30～15:05)「微生物バイオテクノロジー：工業高校の試み」

(大阪府立藤井寺工業高等学校)前坂恵司

[討論・休憩～15:20]

展望講演

(15:25～15:55)「微生物酵素の機能解析と応用開発」

(京都大学化学研究所)江崎信芳

(16:00～16:30)「微生物と植物の共生系を利用した環境保全」

(大阪大学大学院工学研究科)室岡義勝

(16:35～17:05)「微生物の優れた代謝機能を活用して調味料を作る」

(京都府立大学大学院農学研究科)松井 裕

閉会

(17:10～17:15)(京都大学大学院農学研究科)村田幸作

参加費：無料

連絡先(Tel, E-mail)：〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学大学院農学研究科 村田幸作(Tel: 0774-38-3766, Fax: 0774-38-3767)

E-mail: kmurata@kais.kyoto-u.ac.jp

関連URL：京大会館 (<http://www.kyodaikaikan.jp/>)